

SAT通信



NO.3

教職支援センター「より良いSAT活動研究会」発行 2023/12/1

今年度のSAT活動も残りわずかとなりました。現場の先生方には、大変なご苦労をおかけしたと思います。学生たちのご指導に心から感謝申し上げます。

さて、学生たちは、このSAT活動を通して学校現場の実際の姿を自分の目で見て、肌で感じ、座学では学べないような貴重な体験をしました。教職をめざす学生たちにとっては、生涯の財産になるようなかけがえのない時間になったことと思います。今回はまとめの時期ということで、現場の先生方のSAT活動に対するご意見や、貴重な体験をしている学生の生の声の一部をみなさまに届けたいと思います。

『学校現場の先生方の声』

◇小学校SATⅡB・C(授業支援)

- ①SAT活動で心がけていること
・教育実習との違いを指導している。
・体調面。特に熱中症やインフルエンザなど健康管理を第一に気にかけている。
・授業で使用する道具の扱い方などについて事前に伝えている。
- ②SAT学生に望むこと
・児童は学生として認識している
ので、先生としての自覚をもって、自分で察して動けるようにしてほしい。
・指示待ちでなく、児童に積極的に関わ

るようにしてもらいたい。

・個人差が大きいので、その子に応じた支援をお願いしたい。

③その他・感想

- ・低学年の教室は目が届きにくいので、SAT学生にいてももうと助かる。
・学生は担任の指示をよく聞いてくれる。
・あいさつがしっかりできる。
・ファイルの記入がよく書けている。

◇小学校SATⅡA(放課後学習支援)

- ・はじめに4回ほど学級担任が入って、児童のアプローチの仕方を指導している。
・四年の学生は熱心で指導も上手。子どもとの接し方や対応にも慣れている。

◇中学校SATⅡA・B

- ①SAT活動で心がけていること
・SAT活動が初めての学生には、対応が難しい生徒にガンガンいかないよう伝えていく。(以前の経験から)

②SAT学生に望むこと

- ・SAT活動を通して、学校現場のいろを勉強してもらいたい。
・対応が難しい生徒より、むしろ静かに困っている生徒に声かけをしてほしい。
- ③その他・感想
・SAT学生がいてくれるだけで、教室全体の雰囲気が変わる。
・テスト前には、放課後テスト勉強に人手が足りないのでとても助かる。

『SAT学生の声』三・四年

◇小学校SATⅡA・B・C

- ①活動で気をつけていること
・答えを教えるのではなく、子ども自身に考えさせるようなヒントを出している。
・一回が短い活動時間なので、たくさん
の児童と関わるようにしている。
・名前を覚えて、名前と呼んであげたい。
・子どもに対する言葉遣い。
- ②活動を通して学んだこと
・子どもの成長と共に、先生の声かけが
変わってきていることに気がついた。



・低学年では、「こんなことも教えるんだ」と驚いた。

③その他・感想

・子どもとふれ合うSAT活動の経験が、教育実習に大変役立った。

・私語をしているときに、どのタイミングでどの頻度で注意したらよいか悩む。



SATの様子

◇中学校SATⅡA・B

- ①活動で気をつけていること
・あいさつなど礼儀を重んじている。
・生徒が話しやすい存在として傾聴姿勢を意識している。
- ②活動を通して学んだこと
・心を開くようなアプローチを心がける
ことが大事だと知った。
・静かに困っている生徒に声かけをして
も「だいじょうぶ」という言葉が返っ
てくる。とても難しと感じた。
- ③その他・感想
・専門教科の授業を参観することができ、
授業づくりのアイデアがもたらされた。
・素直な子が多いが、表現の仕方が分か
らなくて乱暴になっている子もいる。